

竜串ビジターセンターうみのわ
第2回自然ふれあい行事企画

うみのわに
赤ちゃんウミガメが
やって来る！

ウミガメにとって
いい砂浜って？

ウミガメ 入門

9/5～14の間、
赤ちゃんウミガメ
を展示予定！

赤ちゃんウミガメ
とふれあおう！

SATOUMIの見学
もあるよ！

イベント

2020年

9月5日(土) 13:00～16:00

行程

竜串ビジターセンターうみのわ集合→SATOUMI
見学や、桜浜の産卵場所の観察→うみのわにて
サイエンスカフェ（講師：斉藤知己先生）

参加料
定員

500円 ※SATOUMI入館料が別途必要です。
20名 お申し込みはうみのわまで！

企画展

入場
無料

ウミガメのことを
もっと知ろう！

2020年

9月1日(火)～30日(水)



共催 竜串ビジターセンターうみのわ 土佐清水ジオパーク構想

協力 足摺海洋館 SATOUMI

〒787-0450 土佐清水市三崎字今芝 4032-2
TEL 0880-87-9500 <https://tosashimizu-geo.jp/>



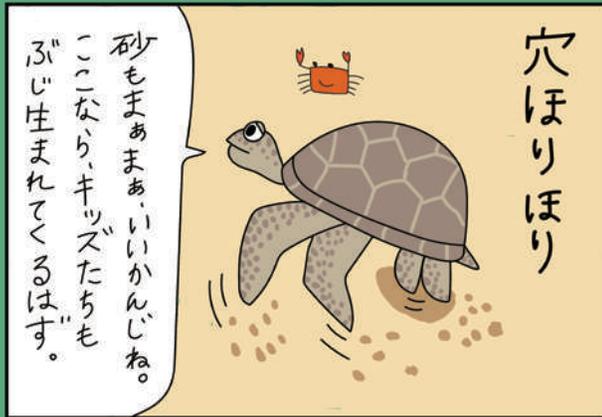
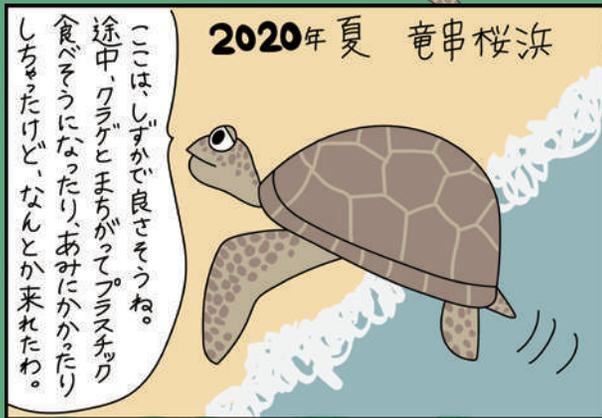
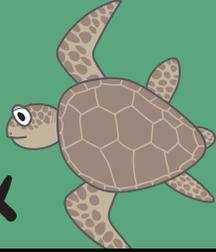
土佐清水ジオパーク構想
Tosashimizu Geopark Plan



足摺海洋館
SATOUMI
SATOUMI Professional Aquarium



だいたい
60日後に
生まれるカメ



生まれるまであと60日くらい

竜串ビジターセンターうみのわ、土佐清水ジオパーク推進協議会は、持続可能な開発目標 (SDGs) に取り組んでいます。



9月5日(土) イベント概要

タイムスケジュール

13:00~14:30 竜串ビジターセンターうみのわ集合
第1部 SATOUMI 館内を見学
フィールドワーク 桜浜で産卵場所の観察

15:00~16:00 竜串ビジターセンターうみのわにて
第2部 サイエンスカフェ
サイエンスカフェ ウミガメの赤ちゃんの観察

参加料 500円 (保険料込み)
SATOUMI 入館料は含まれていません。

講師 斉藤 知己 先生 (高知大学)

定員 20人 (要事前申し込み)

申込方法 参加者のお名前、電話番号、年齢を以下の
お申し込み先までメールもしくは、お電話
でお知らせください。

竜串ビジターセンターうみのわ

〒787-0450 土佐清水市三崎字今芝 4032-2

TEL 0880-87-9500 MAIL uminowa@city.tosashimizu.lg.jp

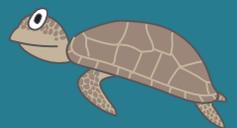
※各種警報発令時や荒天の場合は中止としますが、
雨天時はスケジュールを変更するなどして実施します。

斉藤先生プロフィール

高知大学総合研究センター海洋生物研究教育施設・准教授
京都大学農学部卒業後、1994年から名古屋港水族館に勤務。
ウミガメの飼育展示・調査研究・保護活動に従事。
水族館在勤中に、東京大学にて博士(理学)号を取得し、
2012年より、高知大学総合研究センター海洋生物研究教育施設
にて、ウミガメや海洋生物の研究を行っている。



ウミガメTOPICS



その1 ウミガメってなんだ？

ウミガメは、爬虫類のカメ目のうち海に生息している種の総称で、現生種では、世界中の暖かい海に7種生息しています。日本では、7種のうちの5種のウミガメが見られ、アカウミガメ、アオウミガメ、タイマイの3種が日本の砂浜で産卵をします。土佐清水の浜に産卵にやってくるのはアカウミガメ。日本の太平洋沿岸は、アカウミガメにとって北太平洋唯一の産卵地でもあり、その存続に大きな責任を負っています。



桜浜の産卵場所を確認するウミガメ調査員の満洲さん(左)と桜浜のウミガメの守り人、平野さん(右)。

その2 今年も産卵を確認！

「うみのわ」のある竜串の桜浜でも、5月25日に今年初めてのアカウミガメの上陸が確認され、これまで4度の産卵がありました。卵が孵るまで50日~80日くらい。元気な赤ちゃんたちが生まれるといいですね。ちょうど、イベントの頃に孵化する卵もあるかも？！



施設への入館、イベントへの参加の際には、新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただいております。

※ウミガメの産卵から孵化までの日数は、砂の温度などにより変わります。